

『第2回 芦刈のまちづくり組織に関する検討会 10/28(土) 開催』報告書

令和5年10月28日(土)10:00から開催した「第2回芦刈のまちづくり組織に関する検討会」の内容をお知らせします。ご覧いただき、今後の芦刈まちづくり事業への参加をよろしくお願いします。

- 開催日時 令和5年10月28日(土) 10:00~12:00
- 開催場所 小城市芦刈保健福祉センター「ひまわり」集団指導室
- コーディネーター 九州大学大学院 客員教授 加留部貴行さん
- 参加者 参加人数 23名 (内中学生9名)

次第

- 開会
- あいさつ
- 加留部さん紹介〜グループ内自己紹介・進め方説明
- 前回の振り返り
- 話題提供: 自主検討会発足のお知らせ・メンバー紹介・これまでの取り組み紹介
 - ・発足のきっかけ
 - ・メンバー紹介(各自参加理由)
 - ・第1回(10/5)内容紹介
 - ・第2回(10/12)〜第4回(10/25)内容紹介
- 自主検討会メンバーへのインタビューと対話
- 芦刈町の人口変動と予測値をみながら、まちづくりを考える
- ワークショップ
 - 『自主検討会話を聞いて、芦刈のまちづくりに何が必要だと感じましたか』
- ワークショップまとめ
- 次回以降のご案内
- アンケート・閉会



【自主検討会の一部紹介】

Q 『自主検討会発足のきっかけを教えてください。』

A 第1回 芦刈のまちづくり組織に関する検討会では、開催時間が短く、住民みなさんの気持ちを落とし込めていない＝『もっと話す場が必要!』という感じがしたので、自主検討会を発足し、芦刈公民館にチラシを掲示してもらい、興味のある方はどなたでも参加 OK のコンセプトで、始めました。

Q 『自主検討会のこれまでの取り組みを教えてください。』

A 第1回 10/5

参加者全員の自己紹介から始め、それぞれの芦刈まちづくりへの想いを語り合うことを行いました。やってみたいことなどの話は、自分たちの思い出話までさかのぼり、大いに盛り上がりました。
・子どもたちが困らない町 ・昔からの行事の復活 ・まちのにぎわいをつくりたい

Q 『自主検討会のこれまでの取り組みを教えてください。』

A 第2回(10/12)・第3回(10/19)・第4回(10/25)

具体的なことを考えて、挑戦してみよう!

・・・失敗を恐れずに、自分たちが動き出したことをみてもらいたい

(例) 小規模イベント(食育:🍱おにぎり会🍱)・・・お金がかかるけど、どうする?



自主的に会費として自分たちが貯めたらどうだろう(失敗しても自己責任)
協賛を募ってみたらどうだろう・・・時間はないが、金銭的協力はある

色々な形が考えられる

・・・参加はできないが、米はだしてもよい
・・・ボランティア活動として協力できる

あとは、メンバー募集について意見交換や第2回 芦刈のまちづくり組織に関する検討会での発表内容の共有を行いました

【芦刈の人口予測値を聞いて、まちづくりを考える

・自主検討会話を聞いて、芦刈のまちづくりに何が必要と感じましたか。】

～講師の先生のことばより～

老若男女のみなさんのやりたい気持ちを受け止めて大切にしていけることを通じて、まちづくりにつなげていけないだろうか。

現実を知り、未来を変えていくためには、現実から目をそらさないことも大切ではないでしょうか。

まずは、大人が行動を起こしながら、その絆を承継していくことができれば、芦刈町の未来は明るいのではないのでしょうか。

WSのみなさんの意見まとめ

- ・高齢者・子どもたちの声が伝わりやすい(要望)組織づくり
- ・地域支援の気持ち
- ・若い世代を巻き込む(中学生の親)
- ・若い人たちも危機感を持つことが大事
- ・組織内の役割分担
- ・スピード感も大切だが、取りこぼさない意識
- ・楽しむ場所作り
- ・楽しくできるなら、組織に入りたい
- ・イベントの開催(カレー会・芦刈ガタリンピックなど)
- ・同じメンバーでボランティア活動されている=参加者が少ない
- ・女性のパワーを活かす



問合せ先 小城市企画政策課 地域づくり係【集落支援員】

TEL 0952-37-6115

携帯 080-2379-8647(月・火・木・金)



この報告書は市のHPからもご覧になれます